

自治会 第66号 あつぎ

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな文化

平成26年10月1日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会
電話 046(225)2101

ネットは

協働で築こう、

安全で豊かな地域社会

厚木市自治会連絡協議会

現在、それぞれの自治会が、行政と連携・協力し、防犯活動、防災活動、環境美化活動などの地域活動に熱心に取り組んでいます。今回は、これらの市民協働による自治会活動についてご紹介します。

行政と共に取り組む

セーフティベストを着用し、自治会や地区市民センターが協力して実施している防犯パトロール。
自治会では、このような地域の安全を見守る活動に積極的に取り組んでいます。



自治会と行政が協力して行う防犯パトロールの様子

防犯パトロールに携わる三田哲夫さん(旭町一丁目自治会)は、「地域の安全は、自治会だけでも、行政だけでも守れない。自治会と行政がパートナーとなって、共に協力して取り組むことが大切」と語ります。



花壇は、地域のコミュニケーションの場

また、市内の道路や公園では、自治会が行政から花の苗の提供を受け、花壇への植え付けや除草、水やりなどの管理を行っています。

除草作業に参加した齊藤昭広さん(中三田第一自治会)は、「道路を通る方に喜んでいただくことがうれしい」と話されます。

これからの自治会活動

自治会は、これまで行政と地域住民を結ぶ組織として、様々な公益活動に取り組んできました。

近年、防犯・防災や環境美化など地域における課題が多様化していることから、今後行政との連携・協力を密にして、より安全で豊かに暮らすことができる地域社会を目指すのであります。

平成26年度 役員紹介

会長	小瀬村泰久(南毛利)
副会長	前場 政行(玉川)
会 計	尾崎 常雄(荻野)
庶 務	神保 忠男(森の里)
山 村	勝美(睦合南)
鈴 木	暁司(厚木北)
三 田	哲夫(厚木南)
川 崎	勲(依知北)
渡 邊	勝三(依知南)
大 澤	雄次(睦合北)
池 永	和夫(睦合西)
山 田	充(小 鮎)
渡 邊	征一(南毛利南)
内 田	幸喜(相 川)
佐 々 木	安雄(緑ヶ丘)
三 木	智之(厚木北)
足 立 原	将(厚木南)
松 野	勝(依知北)
倉 田	光政(依知南)
山 口	末夫(睦合北)
又 村	孝夫(睦合南)
栗 原	富栄(睦合西)
古 道	弘(荻野)
毛 利	昇(荻野)
松 本	享一(小 鮎)
前 田	満(南毛利)
佐 藤	孝博(南毛利)
内 井	嘉巳(南毛利南)
宮 内	一男(玉 川)
永 嶋	信一(森の里)
菊 池	美明(相 川)
笹 山 恵 一 郎	(緑ヶ丘)

楽しい自治会を 目指して!!

厚木北地区
元町自治会
会長 栗進

その昔、元町では毎年、草競馬（現野球場）が催され、また、近くに相模川の渡しがあり、厚木の商工業発展の玄関口として栄えてきました。

そのことから町内には、商売繁盛、学問の神様として船喜多神社が祀られ、現在も多くの参拝者が来社されています。

自治会は、本厚木駅に近いという立地条件から、人口が増加の傾向にあります。このため、新旧住民の絆を深めるため、多くの交流の場を實踐しています。桜まつり、研修会、健康づくり大会、夏まつり、神社まつり等々が挙げられ、参加者から高い評価を得ております。

また、町内の安全安心のまちづくりのため、自主防災隊の組



みんなで楽しむグラウンドゴルフ

織強化、訓練の実施に力を入れています。防犯については、ボランティア団体及び自治会役員による安心パトロールを年間を通して精力的に行い、安全確保に努めています。

自治会には、傘下団体として、五団体を有し、自治会行事のほか、福祉、スポーツ等の事業を実施しています。特に核家族化、少子化が進む中、子ども会や青少年健全育成会による子育ては、必要不可欠であるので、支援をしています。

今後「温故知新」を念頭に、町内の和づくり等を進め、住んで良かったと言われる町にしていきたいと思えます。

コミュニティパークの開設

中依知自治会
会長 松岡 汎晃

中依知自治会は、東名高速、中央道、関越自動車道をつなぐ圏央道の「圏央厚木インターチェンジ」を持つ中依知地区の自治会です。

厚木市としては高速道路二つ目のインターチェンジとして県央厚木の物流に貢献しておりますが、地域住民の交流面では地域を分断してしまっております。

圏央道開通以前より、子ども達やお年寄りを含めた「ふ



中依知中央コミュニティパークの開所式

れあいの場所」が殆ど無く、ボール遊びについては、皆無の状況でした。そこで、平成24年の厚木市長との「まちづくりフリートーク」において、公園の設置について取り上げていただき、土地を提供していただく地権者が居られる事が分かり、又隣接地の方々のご理解とご協力を得て、平成26年3月28日に、小林市長や土地を提供していただいた地権者の方、地域代表の方々にご臨席を賜り、盛大に「厚木市中依知中央コミュニティパーク」の開所式を行い、近隣の方々に活用していただいております。

コミュニティパークは約900㎡の敷地で、四分の一をフェンスで囲い安心してボール遊びが出来る様にし、土地にあった樹木も木陰の提供に活用しております。

子ども会の会員減少に 歯止めをかける 役員の方々に感謝

睦合北地区
上三田自治会
会長 山口 末夫

睦合北地区では、子ども会に加入する子どもたちが年々減少している課題に、地域を挙げて取り組んでいきます。

たとえば、年間の行事として、4月は歓迎会、6月は子どもまつりと称して、ミニ運動会又は卓球大会とプラバン作り、盆踊りポスターの作成、7月は盆踊りに向けて太鼓の練習会、8月はラジオ体操と夏休みの宿題の工作、10月は地区運動会、11月は地域のクレーン作戦として、子どもたちが看板を作り、道路わきに掲示して、不法投棄とゴミのポイ捨て禁止の啓発活動、1



卓球大会後の集合写真

月はどんど焼きと子どもたちの餅つき体験、3月にはドイツニerlandなどに行くお楽しみバス旅行等、子ども会の役員さんは盛りだくさんの行事を企画、立案し、一生懸命に会員募集の声掛けをしています。

昨今の子どもたちは、室内で行うテレビゲームなどに関心が高く、野外活動に誘っても、中々振り向いてくれませんが、何とか子ども会に参加してもらい、「健康で明るい地域」を創るため、これからも子ども会を中心に、青少年健全育成会、自治会その他各種団体と一緒に活動していきます。

及川地区自治会の 地域づくり

睦合西地区
及川第二自治会
会長 栗原 富栄

及川地区自治会は、睦合西地区内にあり、荻野川と小鮎川沿いの田園地帯と旧国道412号（現市道妻田中荻野線）の西側に位置し、及川第一、第二、第三自治会が協力して日々の活動を展開しています。自治会加入世帯数は750戸の地域です。

年間行事の主なもの、年度初めの及川地区自治会総

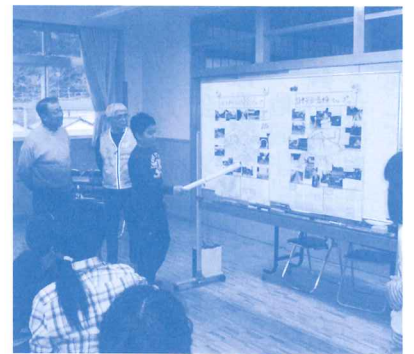


納涼盆踊り大会の風景

会、7月の納涼盆踊り大会、9月は防災訓練、11月にはミニデイサービス、地区ふれあいバーベキュー大会があり、三地区の自治会が一つになってコミュニティづくりを行っています。毎年恒例になっている納涼盆踊り大会は、各種団体の協力により、模擬店を出店。各店舗は、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりです。6月から準備をはじめ、婦人会の方々の指導をいただき、踊りの練習会を開催しています。練習会では、子どもから大人まで汗をかきながら練習をしています。また、盆踊りにはつきもののお囃子には、子ども会の有志による太鼓連を結成して大人の指導のもと、太鼓の練習を通じて伝統のリズムを習得し、本番に備えています。盆踊りの当日は、自治会の班長さん・組長さんの協力をいただき、やぐらやテントの組立を行います。一

**活動しやすい自治会を
目指して**
南毛利南地区
坊中自治会
会長 石井 亨
坊中自治会は、東名高速道路、国道246号及び熊野神社の森に囲まれ、東に小田急電鉄を抱える比較的便利な地域です。

つのことを皆でやることで、自然に声掛けが生まれ、いつの間にか仲間づくりへと発展していきます。そんな小さなきっかけからその後の自治会活動がスムーズになっていく感じがします。
また、防犯活動で登下校時の見守りや、毎月第四金曜日に実施している防犯パトロールは、防犯部長が中心になり防犯ボランティアの方の協力を得ながら、毎回40人くらいの方が参加し、地区内を徒歩でパトロールしています。
人とのつながりが希薄になりつつある昨今、何かきっかけがあれば、地域は一つになります。こうした輪を広げ、防犯・防災・地域福祉・環境美化へと繋げていきたいと考えています。今後は、地域の横のつながりを大切にした自治会活動を推進したいと思えます。



地域安全マップづくり

現在の会員構成は、転入宅が7割程と大きく変わってきています。
当自治会は、8年前に自治会館新設に伴い法人団体となり、自治会規約の制定や慣例契約の明文化を図り、法人としての外郭が先輩諸氏の努力により整いつつあります。
現在の活動方針は、この外郭に沿って、実行面での肉付けをして、より解り易い自治会運営が出来るように努力しています。
活動内容は、伝統行事から敬老事業、環境美化運動、防犯防災活動、公民館行事への参加などと多様化の中で協力者集めに苦心しています。
特筆すべき点は、班長研修として毎年行っている資源化センターの見学によりゴミの分別と資源化への意識定着ができたことです。
いち早く取り組んだ「地域安全マップづくり」では、小

学生が主体となり防犯発表をするまでになっています。
今年のミニデイ活動では、郷土の歴史講座を計画し、郷土の再認識による旧住民と新住民との交流と郷土愛の隆起を図っています。
そして、夏行事の終わりつつある今、年度初めの課題である一人住まい高齢者への対応とゴミ対策のスタートを計画しています。

小野地区の夏祭り

玉川地区
岩田町屋・竹の内自治会
会長 宮内 一男

小野地区は、5つの自治会から成り立っており、全体で約400戸程の地域です。自治会行事の中では、なんといっても夏祭りが最大のイベントで、小野地区大納涼祭と称し、小野児童館を借用して、毎年開催しています。

夏祭りといえば、やはり盆踊りですが、我が地区には、小町会と称する踊りの会があり、この会の方々の協力で祭りを盛り上げていただいています。
祭りの合図は、打ち上げ花火と小野太鼓保存会による呼び込み太鼓でスタートします。プログラムは、子ども達や小町会の踊り手達の盆踊り



玉川小学校の児童によるソーラン節

から始まりますが、数年前より玉川小学校の児童達にソーラン節を踊っていただいたところ、とても好評で毎年お願ひしています。
更に、太鼓保存会による子ども太鼓や、女性による太鼓の披露もあります。また、地元有志の方によるマジックショーも子ども達に好評です。
この他、子ども花火や抽選会、出店も好評で、毎年参加者が多く、子ども達は勿論、保護者や若い世代の方達で賑わっています。高齢化がうたわれる中で世代交代も進んでおり、まだまだ捨てたものではありません。子ども達の出番を作れば、保護者や兄弟、祖父母の参加も見込めて楽しい夏祭りになります。
今後この夏祭りを一層楽しい物に出来る様に企画して行きたいと思えます。

世代間交流イベント 「サマーフェスタ」

森の里地区

森の里四丁目自治会

会長 田口 泰宏

森の里四丁目は自治会加入世帯565世帯、住居数の9割が自治会に加入しています。

平成26年7月19日(土)の16時30分から森の里四丁目自治会館、水のお公園にて「四丁目サマーフェスタ」を開催しました。

この行事は、子どもから大人まで楽しめる四丁目独自のイベントです。毎年たくさんの方で賑わいます。今年はおき水、たこ焼き、フランクフルト、綿あめ、流しそうめん、



四丁目サマーフェスタの様子

山菜ご飯のおにぎり、生ビールの屋台を出しました。また、子ども向けのヨーヨー風船釣り、スーパードールすくい、しゃぼん玉遊び、的あてゲームなどのミニ縁日も好評でした。

当日は、日中に台風並みの雨が降り、開催が心配されましたが、なんと16時には雨が上がり、大いに楽しめました。最後に手持ち花火と仕掛け花火でイベントを締めくくることができました。

イベントは、ふぉーらむ、長寿会、四老子備隊といった自治会役員OBや有志によるグループが準備段階から関わってくれます。このバックボーンが四丁目の強みでもあります。幅広い世代が交流できる場を、これからもつくっていきたいと思います。

痢病神社と子どもみこし

相川地区

酒井新宿自治会

会長 能條 誠一

酒井新宿自治会は、東に相模川、西に大山を仰ぐ相川地区のほぼ中央部に位置。ほぼ全域が市街化調整区域であり、田園風景の残る地域であります。新東名高速道路、都市計画道路・本厚木下津古久線の整備事業も開始され、



にぎわう子どもみこし

大きく変貌しようとしております。

さて、当自治会は、同じ酒井地区にあります酒井新宿自治会と多くの事業を合同実施しております。その中で、今回は痢病神社(リビヨウガミサン)の『子どもみこし』を紹介いたします。

この痢病神社は、痢病(今で言う赤痢、コレラなど)を恐れた人々が祀った庶民信仰の小さな神社で、全国的にも珍しいものです。子どもみこしは、この神社の祭典として、毎年7月上旬に実施。今年も、年番さん、交通安全指導員、子ども会、ソフトボールチーム、保護者の方々など多くの協力、地域住民の皆様からのお賽銭の支援を受け、実施することが出来ました。予定していた7月5日は雨

天のため、翌6日午前中にもぼり旗、神輿の飾り付けなどを準備。午後1時すぎには子どもたち約60名、保護者らも含めると総勢100名以上が参集。玉串奉奠をした後、低学年生、高学年生が交互に神輿を担いで酒井地区全域を、地域の皆さんの無病息災を祈願して練り歩きました。

商店街のにぎわいを

緑ヶ丘地区

緑ヶ丘四丁目自治会

会長 石川 茂子

高齢化と少子化のため、殆どの地域で色々な課題をかかえていると思います。我が緑ヶ丘四丁目も同様です。緑ヶ丘小学校と県住宅供給公社の集合住宅と会社の寮だけという地域性と高齢化ですので、地域、自治会活動は、骨の折れる状態です。

しかしながら、このところ、会社の寮跡地に、20軒の戸建て住宅が誕生し、さらに、隣接して30軒の戸建てが建設され、若い世帯の方がこられました。

そして、現在造成中ですが、会社の寮跡地に55軒の戸建て住宅が年内に完成します。若返



緑ヶ丘地区の商店街

りによって、地域が少しでも変化してくればと期待しているところ。更にこの春、緑ヶ丘小学校バス停付近の商店街のうち県住宅供給公社が建設した14店舗が閉鎖されました。そこで、緑ヶ丘と王子の7自治会が構成する地区自治会連絡協議会が結束し、緑ヶ丘の中心地である商店街の再興・買い物不便解消を願って、市にお願いしたところ、市長をはじめ、政策担当課でさつそく県住宅供給公社に要請をしてくださって、その跡地にコンビニエンスストアとドラッグストアが建設されることになりました。9月下旬には解体工事も終わり、新店舗が建設されます。地域商店のにぎわいの臍が完成する日が待ちどおしいかぎりです。